

自然妊娠をお望みの方へ



卵管に原因がある場合でも、
自然妊娠を期待できる
治療法があります。



FT* (卵管鏡下卵管形成術)

詰まっていたり、狭くなっている卵管を治す方法です。

卵管に原因が見つかった場合、

体外受精しかないと思われていませんか？

卵管は、卵子と精子が受精する大切な場所ですから、

詰まっていたり、狭くなっている場合には

通りをよくしてあげる必要があります。

それを可能にするのが

FT* (卵管鏡下卵管形成術)という治療法です。

不妊症の中でも、卵管に原因のあるものが高い割合を占めています。FT*に

より卵管の通過性が改善されれば、

自然妊娠につなげることができます。

*Falloscopic Tuboplasty

FT

(卵管鏡下卵管形成術)

📍 日帰りでの治療が可能

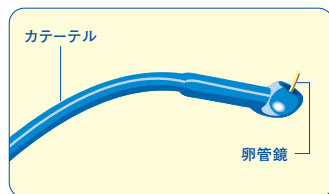
📍 基本的に1回の治療で済むことが多い

📍 身体への負担が少ない 📍 自然妊娠が可能

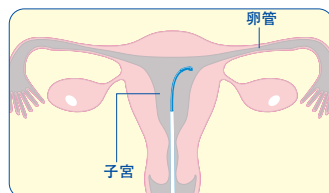
📍 健康保険適用

FTは、詰まっていたり狭くなっている卵管を通す
カテーテル手術です。

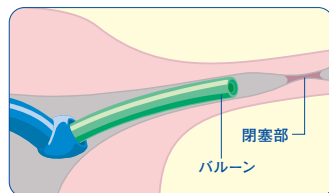
- ① 治療器具は、内視鏡（卵管鏡）を内蔵した細い管（カテーテル）です。



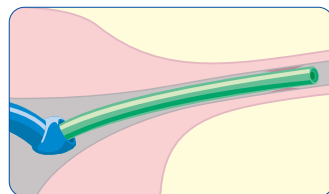
- ② カテーテルを膣から子宮へと挿入し、卵管に近づけます。



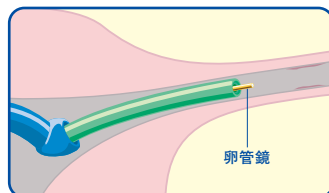
- ③ カテーテルの風船（バルーン）を膨らませて、卵管の中へバルーンを進めます。




- ④ 詰まっていたり、狭くなっている部分を拡げます。



- ⑤ 最後に、通過障害が改善したことを卵管鏡で確認します。



心にも体にも、より負担を少なく
女性にやさしいFTです。

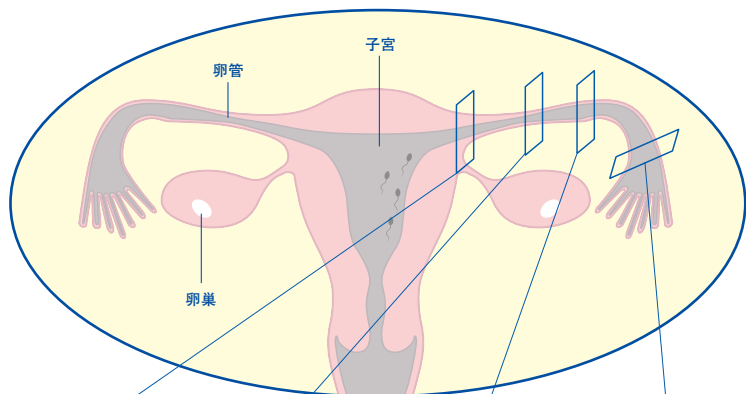
FT	
手術時間	約30分
手術後の入院日数	当日帰宅
手術後の傷跡	なし
麻酔	局所麻酔または静脈麻酔
その他	手術後の痛みはほとんどない

* 腹腔鏡下FT

腹腔鏡を併用してFTを実施する場合があります。全身麻酔で2～3時間の手術で、小さな傷が2～3カ所できますが、腹腔内（子宮、卵巣、卵管周囲など）の治療を同時に行うことが可能です。数日間以上の入院が必要となります。

卵管の通過障害の診断やFT治療後の確認は
子宮卵管造影などで行われます。

正常な卵管内腔



① 卵管口

子宮から卵管への
入口です。



② 間質部

卵管の子宮筋で囲
まれた部分です。
ひだはありません。



③ 峡部

ひだが少しずつ
膨大部に向かって
増えていきます。



④ 膨大部

卵子と精子が受精
する部分です。
ひだが多くあります。

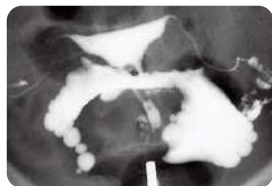
子宮卵管造影で見る通過性回復の様子



卵管が詰まっている画像



FT治療後



卵管の通過性が回復した画像

Q. 卵管因子なら、すべてFTの対象となりますか？

A. 卵管采（卵管の腹腔側の先端）の部分で閉塞している場合は、FT（日帰り）ではなく、腹腔鏡下FTの適用となります。また、事前検査などでこの治療を受けられないと判断される場合もあります。

Q. 麻酔はするのですか？

A. FT（日帰り）は、通常は静脈麻酔で行います。腹腔鏡下FTは全身麻酔となります。

Q. 手術時や手術後に痛みはありますか？

A. 手術時の痛みには個人差があります。ただし、ほとんど痛みはなく、感じても弱いので、検査より楽です。手術後は、腹腔鏡下FTの場合でも一般に15分程度で消失と言われています。

Q. FT実施後の妊娠率はどのくらいですか？

A. 卵管の開通率は90%以上*で、妊娠率は30～35%*といわれています。

* 出典：「わが国における生殖補助医療の実態とその在り方に関する研究(1999年)」 「産科と婦人科vol.63 No.1(1996年)」

Q. 健康保険は適用されますか？

A. 健康保険適用手術です。一部を除いて高額療養費制度の適用となります。

